



プレスリリース

2013年4月10日

プロロジス、中国で2棟、 合計約42,000平方メートルの 専用物流(BTS)施設の賃貸契約を締結

中国屈指の物流企業である徳邦物流 (Deppon Logistics) へ
計92,900平方メートル(100万平方フィート)以上の物流施設を提供

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(NYSE: PLD)は、このたび中国屈指の物流企業である徳邦物流 (Deppon Logistics)と2棟のビルド・トゥ・スーツ(BTS)型施設の賃貸契約を締結しました。2棟の合計は41,957平方メートル(452,000平方フィート)となります。

今回契約した施設は、中国南部にある「プロロジス東莞石碑(Dongguan Shipai)物流センター」内に開発され、珠江デルタ地域東部への配送センターとして運営されます。この物流施設は、徳邦物流の運送便の往來を効率化するために広く設定された荷さばきスペースが特徴的です。また、同施設は広州や深センなどの主要都市への利便性が高い年末完成予定の従莞(Congguan)高速道路から至近距離に位置します。

プロロジスは、東莞市は経済成長が著しく国内消費も伸びており、製造業も盛んな地域であるため、物流施設に対し強いニーズがあるとみています。

今回の契約により、徳邦物流は中国国内の5つのマーケットにおいて計92,900平方メートル(100万平方フィート)以上のプロロジスの物流施設を利用することとなります。

プロロジスは、物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業として、アジアで約340万平方メートル(約3,660平方フィート)の物流不動産を運営・開発中です(2012年12月末現在)。

本資料は、2013年4月4日(現地時間)に米国で発表された英文プレスリリースの抄訳です。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do